

諏訪の杜っ子

令和4年11月4日(金)
福津市立福間小学校
文責 教頭

人とつながって表現し、納得できる(笑い合う)子供の育成
コラボ&トライ

福津市教育委員会 定期学校訪問がありました。

福津市立の公立学校では、年に1回、「公教育としての教育水準の維持向上及び学校(園)の特色ある教育活動の推進に資する」ことを目的として学校訪問があります。本校は11月2日にありました。来校されるのは福津市教育長をはじめ教育委員さん、そして教育委員会事務局の方々です。

訪問は、①学校からの説明 ②授業参観 ③教育委員会からの指導助言 の順で進みます。

◆学校からは主に以下のことを説明しました。

- 生活科や総合的な学習の時間を中心としてふるさと学習やそれを可能としている地域コーディネーターとの連携について
- 校内研修や交換授業を通じての教職員の専門性の向上について
- いじめ、不登校の未然防止や対応について
- 「学級の旗づくり」「集会活動」を学校にくる楽しさを感じる取組みについて



◆授業参観の後、訪問された方々から感想や助言をいただきました。以下抜粋し、紹介します。

《よさ》

- 交換授業や校内研修などの授業をよりよくするために行っている取組みの成果が子どもの姿(授業にメリハリがあった)に現れていると思った。
- ふるさと学習は、コロナが落ち着いてやっと地域の方々と活動ができるようになってきたと実感した。
- 子ども達主体の「オープン・ザ・ステージ 輝」や児童集会、あいさつ運動、学級旗づくりなどは、学校に来る楽しさ、所属感の高まり、自己有用感等、子どもの心の成長につながる取組みである。
- 多くの先生が自信をもって楽しそうに授業をされていると感じました。
- 朝、玄関掃除の子ども達が丁寧に掃いていたり、マットをはたく姿に日常的に取り組まれていると感じた。



《改善点》

- 地域ボランティアをもっと取り込んで先生方の負担を減らせれば良いと思う。子ども達もたくさんの大人と関われるし、地域の方々もやりがい、生きがいになると思う。
- タブレットは「提示」以外にもいろいろな機能があるので、更に使いこなせるようになってほしい。日常的に活用し、学級間での格差がでないようにすることが大切である。
- 超過勤務時間の削減に努めること。そのために、既存の教育活動を「思い切ってやめる、減らす、内容を吟味する努力」が必要である。等

◆主な11月行事等◆

- 7日：家庭学習がんばり週間(～11日) 15・16日：6年修学旅行
19日：土曜日授業 ふくまっ子体験(12時頃下校)
24・29・30日 個人懇談 12月1日：個人懇談予備日